



# きした 敬 二 木下けいじ 県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

## 新年度当初予算の編成方針

### 自民党代表質問に登壇！ 知事の政治姿勢を問う



自民党を代表して登壇した木下県議

今年2月から自民党千葉県連の政務調査会長に就任した南房総市・安房郡選出の木下敬二(きした・けいじ)県議は、政策立案を担当する党政調会長の立場から、2月定例会議会で自民党代表質問に登壇しました。木下代表は、森田知事の政治姿勢についての質問

### 財政問題について

木下議員 初めに、知事の政治姿勢について伺います。第2次安倍政権のもと、名目GDPは過去最高となり、有効求人倍率は史上初めて全都道府県で1倍を超えるなど、日本経済はデフレ脱却へ向け着実に前進し

ています。このような中、千葉県に於いても、地域社会の充実や地域経済の活性化に向けて、あらゆる施策を動員して、県民一人ひとりがその能力を発揮できる環境を整備し、次世代に誇れる千葉県

の中で、平成30年度一般会計当初予算の編成方針をただしたほか、高速道路ネットワークの整備に伴って、地域へのアクセス道路の必要性を強く指摘しました。

整備を強力に進めたい。このため道路予算を大幅に増加させたいと明らかにし、平成30年度の道路ネットワーク事業予算を増額し、新たに30カ所で事業着手し、32年度までに52カ所の供用開始を目指すなど、積極的に道路整備に取り組み考えを表明しました。

の実現を目指していくことが求められています。限られた予算の中で、どのように施策を進めていくのか、大変気になるところです。そこで伺います。平成30年度当初予算は、どのような基本方針のもとで、何に重点をおいて編成したのか。

森田知事 平成30年度

### 海外への販路拡大

木下議員 知事の海外トップセールスについて、伺います。人口減少により、国内市場の縮小が懸念される中、本県の農林水産業を今後も持続的に発展させていくためには、海外への販路拡大は不可欠です。また、県内企業の海外進出や、外国人観光客の呼び込みも、ますます重要になると思います。

知事による今回のトップセールスの成果はどうだったのか。  
森田知事 今回は、農水産・観光・経済の各ミッション

### 知事トップセールスの成果

このように取り組みを通じて、タイ国内に本県の魅力を幅広く発信することができ、私をはじめミッション団も確かな手応えを感じることができました。

●自民党県連の政務調査会長に就任！

木下けいじ 県議事務所

〒295-0005 南房総市千倉町牧田164-1 TEL.0470(44)4111 FAX.0470(44)4112

●木下けいじ公式ホームページ=http://kishitakeiji.com/ ●Eメール=info@kishitakeiji.com

# 道路整備予算を大幅増加へ

## 新規30カ所で事業着手

## 2月県議会代表質問に登壇



自民党を代表して再質問する木下県議

### 前年度比87億円増

**木下議員** 平成30年度の道路ネットワーク事業予算を見ると、前年度から87億円増の577億円となり、一定の評価をしております。道路ネットワーク事業予算が大幅に増額されているが、どのような考えによるものか。

**森田知事** 県内では、圏央道の大栄横芝間が平成36年度までに開通する見通しとなり、外環道もいよいよ今年6月までに開通。館山道も来年度には4車線化が完了する予定です。

### 地域の道路整備も

**木下議員** 高速道路ネットワークの整備状況を踏まえ、県内の道路整備にどのように取り組んでいくのか。

**森田知事** 高速道路ネットワークが着実に整備される中、この整備効果を県内に広く波及させるためには、

成するなど、着実に高速道路の整備が進んでいるところ。これらに接続する道路ネットワークの整備をさらに進めていく必要があります。

県では、道路ネットワーク事業予算を大幅に増額し、地域へのアクセス道路の整備を強力に進めるとともに、市町村から要望の多い、地域に密着した道路の整備や、交差点の改良、歩道の整備、沿道の除草等についても、これまで以上に取り組むこととしました。

### 農林水産業の振興策

**木下議員** 農林水産業の生産者の多くは、TTPなどが農林水産業に及ぼす影響に不安を感じています。県としては、生産者が今後

も意欲を持って経営に取り組めるよう、万全の対策を講じていく必要があると考えています。そこで伺います。農林水産業分野におけるTTP等の対策について、どのように取り組んでいくのか。

**森田知事** TPPなどの経済連携によって、関税削減等の影響による農林水産物の価格低下が見込まれる中、海外産地との競争に打ち勝てるよう、品質向上や

区間の事業化に向けた環境調査に着手します。さらに、県内各地の市町村から要望の多い、地域に密着した道路整備についても、地域の活性化や防災力の強化を図るうえで、強力に推進する必要があります。

そこで、平成30年度の道路ネットワーク事業予算を増額し、新たに30カ所について事業着手するとともに、平成32年度までに52カ所の供用開始を目指し、着実に事業を実施するなど、計画的な道路整備に取り組んでまいります。

こうした中、国では昨年末、「総合的なTTP等関連政策大綱」を改訂し、農林水産業の体質強化対策などの予算を充実させたところです。

県では、国の対策を最大限活用し、産地間連携による販売力強化を図るとともに、担い手への農地集積や、畜産をはじめとした労力軽減のための機械導入、水産共同加工施設の整備による生産の効率化などに取り組んでまいります。

### 中小企業の元気戦略

**木下議員** 新たな「ちば中小企業元気戦略」のもとで、中小企業が直面する課題に対して、県はどのように取り組んでいくのか。

**森田知事** 新たに策定した「第4次ちば中小企業元気戦略」では、小規模企業の振興を重要な柱にしつつ、中小企業が直面するさまざまな課題に対し、施策を充実させていくこととしています。具体的には、小規模企業等の後継者不足に対しては、商工会等と連携した企業訪問による早期の事業継承を促す取り組みを強化するほか、近年の人手不足に対しては、大学生等の地元定着に向け、新たに中小企業のインターシップ促進に取り組んでまいります。

### 学校での働き方改革

**木下議員** 県教育委員会として今後、学校の業務改善に向けて、具体的にどのように取り組んでいくのか。

**内藤教育長** 今回の教職員の勤務実態調査の結果から、教職員が長時間勤務をしている実態が改めて明らかになりました。県教委としても、この調査結果を深

### 新たな有害鳥獣対策

**木下議員** 有害鳥獣対策で、平成30年度はどんな取り組みを行っていくのか。

**滝川副知事** 平成30年度から、新たに集落単位で防護・捕獲環境管理に総合的に取り組む「イノシシ等野生獣対策モデル事業」を実施する予定です。

さらに、企業の成長・発展に向けて、販路開拓にも資するクラウドファンディングを活用等の資金調達への支援を充実させていきます。

刻に受け止めています。このため、国の動向を踏まえつつ、教員の長時間勤務解消に向けた基本的な方向性を定めた「教育職員の総労働時間の短縮に関する指針」を本年度中に改定するとともに、学校における働き方改革に向けた具体的な対策の検討を進めてまいります。

また、耕作放棄地等に生い茂る草木を伐採し、イノシシの棲家の撲滅を目指す、いわば「攻撃的な防衛」といえる取り組みに対し、新たな予算を計上したところです。

### 自民党の代表質問項目

- 知事の政治姿勢について
  - 1) 財政問題について
  - 2) コンプライアンスの徹底について
  - 3) 知事の海外トップセールスについて
  - 4) 成田空港の更なる機能強化について
- 千葉県津波浸水予測システムについて
- 千葉県保健医療計画について
- 救急医療体制の確保について
- 千葉県高齢者保健福祉計画について
- 母子保健の充実について
- 保育所等の整備について
- 有害鳥獣対策について
- 生活排水対策について
- 県内経済の活性化について
- 農林水産業の振興について
- 県内の道路整備について
- 幕張新都心における新駅設置について
- 学校の業務改善について
- 定時制教育について
- 県立学校改革推進プランについて
- 東京オリンピック・パラリンピックに向けた県警の対応について
- その他